

庄内保健福祉総合センター浴場レジオネラ属菌検出に関する対応等の概要

1 発生施設

名称：庄内保健福祉総合センター
所在地：飯塚市綱分 771 番地 1
運営方法：委託(飯塚市シルバー人材センター)

2 レジオネラ属菌について

自然界（河川、湖水、温泉や土壌など）に生息している細菌で、感染するとレジオネラ症を引き起こす。レジオネラ症は、主にレジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（細かい霧やしぶき）の吸入などによって、細菌が感染して発症。レジオネラ属菌はヒトからヒトへ感染することはない。レジオネラ属菌による被害（レジオネラ肺炎・ポンティアック熱）は潜伏期間が5～10日とされている。

【レジオネラ肺炎の症状】

高熱、悪寒、筋肉痛、吐き気、意識障害等を主症状とする肺炎。時として重症になる場合がある。

【ポンティアック熱の症状】

インフルエンザに似た非肺炎型熱性疾患。悪寒、発熱がみられ、一般に軽症で、数日で回復。

3 検出内容

- (1) 水質検査検体提出：令和8年7月27日（月）に水質検査機関へ提出。
- (2) 検出報告：令和8年8月19日（水）11時頃、水質検査機関から本市へレジオネラ属菌検出の報告あり。
- (3) 検出箇所：男性浴槽（小浴場）
- (4) 判定内容：レジオネラ属菌の検出量 10CFU／100ml（基準値：10CFU／100ml 未満）

4 対応概要

- (1) 令和8年8月19日（水）：浴場（全室）の一時利用中止。県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所生活衛生課へ報告。医療機関等から県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所へ感染の報告はあっていない。8月28日頃までは健康被害を訴える可能性がある。
- (2) 令和8年8月20日（木）：レジオネラ属菌検出の報道発表、市ホームページに掲出。
- (3) 令和8年8月21日（金）：配管、浴室等の洗浄・消毒を実施。
- (4) 令和8年8月23日（日）：浴場の清掃等実施。
- (5) 令和8年8月24日（月）：再検査のため水質検査機関へ検体を提出。
- (6) 令和8年9月1日（火）：水質検査機関からレジオネラ属菌不検出の報告。

(7) 令和8年9月2日(水)：市ホームページへ9/2から浴場の営業再開(周知)を掲出。

(8) 令和8年9月2日(水)：浴場の営業再開。

5 原因

主たる原因は不明。ろ過器や異物・汚れを除去するバルブへの付着等が原因とも考えられることから、配管、浴室等の洗浄・消毒を実施。